

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年9月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690800083
法人名	株式会社 みさき
事業所名	グループホーム あゆみ
所在地	鹿児島県出水市荘973番地1 (電話) 0996-82-5511
自己評価作成日	平成30年8月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年8月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな環境と広い敷地内には、花壇や菜園が設けられており季節の花の観賞や野菜作りを楽しむ事ができる。収穫した野菜は、食卓にも上がり利用者同士の会話の話題にもなっている。館内は明るく開放的な居住空間がある。ロビーを挟んで両側に居室が設けられ、自由に居室とロビーが行き来できて安心感があり使い勝手が良い。居室にはトイレが完備されプライバシーも守られている。窓から見える景色も素晴らしく、四季を感じる事ができる。又、年間行事も充実しており、地域の行事参加や季節毎の行事、皆で作り上げた文化祭作品の出展、踊りやカラオケ、演奏会等、ボランティアの方々、ご家族の協力の下、楽しみが多々、用意されている。職員は、スタッフ会議や日々の生活の中で職員同士の共通意識を高めながら、利用者様が穏やかに安心した生活を送れるよう精一杯努力し、一人ひとりに寄り添い、毎日を大切に過ごして頂けるよう理念を念頭に日々、心を込めた介護に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は敷地内が広く野菜畑もあり、季節ごとの収穫は利用者の楽しみの一つになっている。ウッドデッキでの外気浴や食堂からは四季折々の外の景色が見え、構造的にも機能性が高い。居室はトイレを設置している。
- ・事業所の理念と共に年度目標を確認しながら、利用者の思いや暮らしの希望の把握に努めている。職員は利用者の担当を決め、介護知識・技術の研鑽に努め、個別ケアでその人らしい暮らしに取り組んでいる。
- ・自治会に加入し、地域との交流を大切にしている。総会やクリーン作戦に参加したり、市の文化祭には作品を出品している。施設の敬老会行事には家族や地域住民も参加している。小・中学生の楽器演奏や地域住民の踊り、カラオケなどボランティアの訪問などあり賑わっている。
- ・外出は週1回の買い物や地域行事への参加、年間計画を作成し、季節ごとの花見や鶴見物等に出かけている。
- ・施設長や管理者は、職員の計画的な研修、外部研修参加の手だて等、自己研鑽の環境を整えて資格取得等、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	スタッフ会議で毎回理念を唱和し意識確認を行い、日々のケアを振り返り職員全員で共有し実践へ繋げている	法人理念とホーム理念があり、ホールや目につきやすい所に掲示している。個別ケアの目標を決め研修の充実を図り、取り組んでいる。スタッフ会議で唱和し意識づけ確認して、管理者と職員は共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事、総会、クリーン作戦、運動会等にも参加したり、市の文化祭等に作品を出品したりしている。また、施設の行事等にもボランティアの方々に参加して頂いたりしている。	自治会に加入し、総会やクリーン作戦に参加し、回覧板や広報誌・有線放送等で地域の情報を得ている。小・中学校の運動会に参加したり、市の文化祭には作品を出品している。ホームの敬老会には地域のボランティアの踊りや小学生の演奏等がある。散歩の時のあいさつや近隣住民からの声かけ、野菜の差し入れ等があり、地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症の相談や施設申込の相談等は随時、受け付けている。又、運営推進会議では地域の方に参加して頂き施設の活動や支援の取り組み等も理解し、地域の活動にも役立てて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>施設での取り組みや状況報告し参加者との意見交換や助言を頂きサービス向上に役立てるようにしている。又、地域の情報を収集し活動への参加に役立てられるように取り組んでいる。</p>	<p>2ヶ月毎に定期的開催している。入所者の状況やヒヤリハット報告・行事報告・職員の研修の状況・外部評価結果報告等を行い、家族や民生委員からヒヤリハットや地域の情報・在宅ケアについて事等、活発に意見交換を行い、双方向的な会になっている。出された意見は職員間で話し合い共有して、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>利用者や業務に関する事等、随時報告し、助言、指導を頂いている。又、入所に関しての問い合わせ等、相談に応じたり協力関係を築いている。</p>	<p>市の担当者とは、入居状況や空き室の状況、介護保険の更新、運営の相談等をしている。運営推進会議に於いても情報の交換や助言があり、市の福祉課とも書類更新など連携を取っている。市主催の研修会やグループホーム研修会には、積極的に参加して協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を立ち上げ3カ月毎に委員会を開催している。グレーゾーンを含め、不適切なケアになっていないか見直し拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルを作成している。身体拘束委員会があり、3ヶ月毎に研修会を開き禁止となる事例を挙げて話し合い、特に言葉の拘束には具体例を提示して研修している。年1回は市の講師を招き、虐待防止や権利擁護について理解を深めている。昼間は玄関の施錠はせず、外出希望者には、職員が同行して寄り添い身体を拘束しない自由な暮らしに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>年1回、市の講師を招き全職員が講習を受け、再認識する事で虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>年1回、市の講師を招き日常生活自立度支援事業や青年後継制度について学び、個々の必要性に応じ対応できるように努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所の際は契約書、重要事項に基づいて説明し、施設で起こりうるリスクについても理解得られるようにしている。改定がある場合はその都度、説明行い了承得た上で行うようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者に関しては日常生活の中で個々の思いに添えるよう努めている。家族に対しては家族会を年1回は開催し、意見交換を行ったり、面会の際に聴き反映できるよう努めている。</p>	<p>利用者からは日常のケアの関わりから思いを把握している。家族からは面会時や家族会・運営推進会議の時に対話をしたり、「便り」で日常の様子を伝えながら対応している。意見は申し送り帳や介護記録に記録して、全職員共有して話し合い、改善に向けて取り組み運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見や提案は常に聴く様に努めている。又、運営に反映できるようスタッフ会議で話し合い、理解と協力が得られるように努めている。</p>	<p>職員の意見や提案は、日常の関わりの中やスタッフ会議で聞く機会を設けている。日頃からコミュニケーションがとれ、意見が言いやすい環境にある。勤務やケアに関する意見や提案が出され、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>1人ひとりが役割を持ち、得意とする事が業務に活かされるよう努めている。又、個々に目標を立ててもらい有言実行に向けて支援している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人外の研修に参加して貰い、そこで得た知識を他の職員にも共有してもらえよう発表の場を設けたり、内部研修も計画的に行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修に参加し同業者と交流の機会が持てるようにしている。又、他の施設の業務内容について参考にさせて頂いたりしながらサービスの向上に役立てられるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前情報を基に困っている事や不安に思っている事、または要望等に耳を傾け話し合いを持ちながら不安なく安心した生活ができるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族が何を求め、どのようにしたいと望んでいるのかを傾聴し、その気持ちに寄り添い、応じられるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>現在の状況を把握し、まず必要としている支援を見極め、これから何ができるか、先を見通した介護ができるよう心がけている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者一人ひとりの思いに寄り添う事ができるようにコミュニケーションを積極的にとるようにし、共に過ごす事によって支え合う関係を築いていけるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の思いに添えられるように家族の方と話し合い家族の出来る事は協力を頂き、共に支えて行く関係性を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容室に行ったり馴染みの友人、知人に連絡をして頂いたり関係性が途切れないように配慮している。又、家族の協力を得て馴染みの人や居場所に出かけたりして頂いている。	入所時にアセスメントをして、馴染みの人や場との関係を把握している。馴染みの友人や知人の面会時はお茶を出してゆっくりしてもらっている。週に1回の買い物や医療機関の帰りに自宅に立ち寄りしている。地域行事の敬老会に参加したり、祭りの見物、家族と墓参りや法事に行く等、手紙や電話の取次ぎも行い、家族の協力を得ながら、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しい雰囲気の中で一人ひとり孤立することなく日々の活動に参加したり、2ユニットなのでお互いに行き来できる環境を作って交流を深められるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も相談にのったり、支援をしたり、外で家族の方とあった時などは話をしたり関係性を大切にしている。又、手紙や年賀状のやり取りなども行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個別に会話する機会を設け、思い、悩み、暮らしの希望等を聞き出せるよう努めている。内容によってはスタッフ間で共有し本人の意向に沿えるよう努めている。	利用者には担当の職員がおり、日頃の会話の中で家族と連携しながら情報を得ている。趣味や好きな物、畑や花づくり、レクリエーション等、思いや暮らしの意向を把握している。家族と外食に出かけることもある。職員間で共有しながら、その人らしい暮らしを支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、関係者より情報を収集し、本人の生い立ち、生活歴を把握し、今後のサービスに活かせるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムや会話で心身の状態を把握し、今後のサービスに活かせるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の生活をより良く暮らす為に必要とされる支援や本人の意向等を踏まえ、スタッフ、計画担当者、看護師、家族等で話し合い介護計画を作成している。又、定期的にモニタリング実施し、方針等を検討している。	本人・家族・職員・看護師で、担当者会議を開き、スタッフ会議のカンファレンスも参考にして、主治医の意見を入れ介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い、状況に変化があった時はその都度見直し、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録やケース記録に日々の様子ケアの実践、気づき、工夫等を個別に記入し、申し送りや日誌も利用して職員間で情報を共有している。それらをもとにケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況を理解し、その時のニーズに対応できるように、全職員意見を交わしながら既存のサービスに捉われない柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し地域での運動会や文化祭などに参加し、花見や鶴見学に出かけるなど、心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむ事が出来るように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望されるかかりつけ医に受診して頂いている。定期受診の際は日頃の状態について診察記録を使い報告し、急な体調不良に関しても連絡し指示を仰ぐようにしている。	かかりつけ医は、本人や家族の希望を大切にしている。かかりつけ医の往診は2週間に1回、受診の際は、診察記録で利用者の状態を伝え、受診後は主治医からも所見を記載してもらい、適切な医療連携がとれている。受診結果は家族に報告している。歯科は訪問診療を受けている。他科受診は家族の協力を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のバイタルチェック、身体機能、心理面、皮膚の異常に至るまで報告し、指示をもらい対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院に置いては、ある一定期間ののち、医師や医療関係者とカンファレンスを行っている。又、面会等行い状態把握に努めている。退院される際は医療機関より指導を受け入院前の生活に戻れるよう支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化した場合における対応の指針を行っているが、重度化した場合には本人や家族と直接、話し合いを持ち選択肢の中から望まれる方向で協力が出来るようにしえんを行っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針は、入居時に『重度化した場合における対応に関する同意書』で説明して同意を得ている。状況の変化により重度化した場合、主治医から本人・家族に説明し話し合いを行っている。医療機関への転移、特別養護老人ホーム等の選択肢があり、家族の意向を踏まえ、望まれる方向でホームでできる最大の支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年1回、消防署の協力を得て心肺蘇生法、心マッサージ、AED使用法、応急手当法等を実践講習で学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練を実施し地元の消防団や自治会長、民生委員、全職員への連絡など行っている。又、防災無線による避難情報が確認できるようにしている。</p>	<p>年2回避難訓練を実施し、1回は消防署立ち合いで夜間想定で行っており1回は自主訓練で、避難・消火・通報訓練である。地域の自治会長・民生委員の協力がある。消防署からの説明や消火器の取り扱いの指導もあり、自動通報装置もある。消防計画書も作成している。備蓄は、カンパン・レトルト食品・コンロ・オムツ・タオル等を用意している</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、排泄の声掛けや失敗した時も周囲からの羞恥心等、プライバシーに配慮した対応を心掛けている。	スタッフ会議でマニュアルを基に研修を実施している。権利擁護、接遇、プライバシーの確保に配慮している。入浴介助、排泄介助の声かけ、羞恥心への気配りをして対応している。台帳や書類の保管も人目につかないように気を付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の訴えには耳を傾けて内容を確かめ出来る限り希望に添えるよう本人の意思を大事にし自己決定出来るよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調やその日の気分など配慮しながら無理のないような過ごし方ができるように意思を確かめながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に訪問理容を受けたり、馴染みの美容室を利用至りしている。更衣の際は本人と一緒に洋服を選んで頂いたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの体調を把握し安全に安心して食べて頂けるよう調理を行っている。又、いりこの腹わた取りや野菜の下ごしらえ、食後のお盆拭きやテーブル拭き等も積極的にして頂いている。	施設長が管理栄養士で献立を作成し、調理専門の職員が調理している。個々の嗜好を把握して食事の形態も、きざみ食やミキサー食等を提供している。行事食の花見弁当・おせち料理・誕生会の手作りケーキ等、食事を楽しんでいる。野菜の下ごしらえや野菜の皮剥き・梅干しづくり等、職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が栄養のバランスを考慮したメニュー表を作り、一人ひとりにあった食事形態で提供している。食事の摂取量や水分量は毎食チェックし記録に残している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の能力に応じて見守りや声掛け、介助等で口腔ケアを支援している。義歯は毎日、洗浄液にて消毒を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人のパターンを見ながら定期的に誘導したり、ソワソワしている時に誘ったりして失敗を減らし成功体験を増やし自立に繋がるように支援している。	排尿チェックシートを活用して、排泄の状態を把握し声かけ誘導している。昼間はできるだけトイレでの排泄を支援している。居室にトイレを設置しているので、自分で行く利用者もいる。利用者の状態に合わせて排泄介助やパットの種類の選択等、自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便チェックを行いながら水分量の確認、散歩や運動参加など行い自然排便を促している。困難時は、主治医の指示を受けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調管理を行い入浴を行っている。拒否がある場合は無理強いせず時間を置いたりして本人のタイミングをみて入浴して頂いている。	入浴は週に3回、午前中に行っている。入浴を拒む利用者には無理強いしないで時間を変えたり、介助者を変えたり、タイミングを捉えている。温泉に行く利用者もいる。失禁の時はシャワー浴をする等、個々に応じた清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中も短時間の午睡の時間を設け休息して頂き、夜間は不安を残さないように配慮したり、室温や騒音にも気を配り安眠への支援を行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ファイル1冊に各個人の薬の説明書を入れて、薬の効能、副作用等がいつでも確認できるようにしてある。又、異常時は看護師へ報告する様にしてある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>集団でのレクリエーションを楽しんだり、個人でパズルやぬり絵、書き物、おしゃべりなどを自由に楽しめるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>施設行事としての施設外活動レクリエーションを行ったり、家族の協力のもと、外出、外食、外泊など行い地域の中での触れ合いが出来ている。</p>	<p>一人ひとりの希望に沿って、戸外に出かけられるように支援している。日常の散歩、週1回の買い物・美容室・墓参り・地域の祭り・自宅訪問・医療機関帰りのドライブ等に出かけている。施設行事全体の外出もあり年間計画に沿って、花の季節はバラ園・紫陽花見物・文化祭の作品見物・鶴見物・外食等、家族の協力を得ながら車椅子の利用者も外出・外食等に出かけている。施設の庭も広く花見弁当を食べたり、日常の散歩や外気浴も身近にできている。盆、正月には自宅に外泊する利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣い金を所有し、お店で必要なもの購入しレジでの支払いとノート記帳まで出来るよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族の了解のもと、携帯電話を所持したり、電話、手紙の希望があれば通信の支援を行っている。耳の遠い方には職員が代理で伝達し、ご家族に来て頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	前居室にトイレが設置されプライバシーが配慮されている。又、自然の光や景色が大窓から感じられ室内の装飾も皆で作った作品の展示や季節の花を洗面所に差して飾ったりして温かく安らげるように工夫している。	玄関には季節の花があり、リビングや廊下は広くゆとりがあり窓も大きく四季折々の自然の景色が見わたせる。縁側も広く外気浴に利用できる。室温や換気が適切で空気の流れに配慮がある。壁には季節の作品が展示してあり、花も飾ってあり温かな雰囲気である。テーブルとソファも置かれている。食後に休憩している利用者もあり心の休まる優しい空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブル席、窓際のイスなどが配置され好きな場所で寛げるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や寝具を使用したり、ご家族の写真を飾ったりして安心感のある室内の空間づくりに努めている。</p>	<p>居室は明るくて広く外の景色が見える。部屋にトイレや洗面台があり、エアコン・クローゼット・ベッドが設置されている。テレビ・机・椅子・家族写真・ぬいぐるみ・花等を飾って、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の入口に名札を付けたり、分かりやすく装飾して目印にしたり、私物には、名前を書いて他者の物と区別が出来るようにしたりして工夫している。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない